2025 年 10 月 25 日
競技監督

2025 ライディングスポーツカップ もてぎショートコース選手権 ブリーフィング資料

【1】走行時の注意事項

1）走行時は必ずヘルメットリムーバーシステム・脊椎パッド・チェストガード(ロード用 CE 規格)を着用してください。
2）スロー走行を余儀なくされた場合は必ずコース右端を走行し、各コーナーでレコードラインと接近する場所を走行する際は、お互いに注意し追突等がないように走行してください。
3）22 歳以下の選手および 55 歳以上の選手は、エアバッグの装着が義務となります。
4）ビブ着用者への配慮を心掛けましょう。

【2】フラッグ

原則全てのフラッグが振動表示されます。

【3】ジャンプスタートペナルティ

1）ジャンプスタートと判定されたライダーには原則、「ライドスルーペナルティ」が課せられます。当該ライダーに対し、メインフラッグポストからゼッケン No.および“RIDE THROUGH ボード”(左下画像参照)が提示されます。当該ライダーは速やかにピットインし、徐行でピットレーンを通過してください。
※ピットレーンではピットサインマンエリアとピットボックスの間を横断する歩行者がいる可能性があります。十分注意の上、徐行でピットレーンを通過してください。
2）ライドスルー時の速度が著しく速いと競技団が判断した場合、ペナルティ消化とは認められず、引き続きメインフラッグポストからゼッケン No.と“RIDE THROUGH ボード”が提示されます。

【4】フルコースイエロー（ Full Course Yellow ＝ FCY ）

90 分耐久レース中、車両回収や救急車の介入が必要となった場合、メインフラッグポストから“FCY ボード”(右上画像参照)が提示され、全監視ポストからイエローフラッグが提示され、レースは非競技化されます。周囲に最大限の注意を払いながら減速し、危険回避に努めてください。すべての競技車両は追い越し禁止で先頭車両の後ろに 1 列縦隊を形成してください。FCY 解除となった場合は、各ポストからグリーンフラッグが提示されますので、その地点を過ぎた段階からレース再開となります。FCY 提示中も周回数はカウントされますのでパレード状態を維持したままレース終了(チェッカーフラッグ)となる場合があります。

裏面(次頁)に続きます↓

【5】コースイン・ピットイン

1）必ず1番ピットを通過してピットレーンに進入してください。
2）コースイン直後は、第2コーナー立ち上がりまでは右端を走行してください。
3）ピット出口のシグナルがレッドの場合はコースインできません。
4）ピットインする際は、第2ヘアピン手前から後続者に分かるように手を上げて合図を出し、右端を走行してください。

【6】スプリントレース

1）タイムスケジュールの時間よりも早めに1番ピットにご集合ください。
2）必ずスタート前チェックを受けてください。
3）サイティングラップ1周し、グリッドに停車してください。
4）その後、オフィシャルの指示により、ウォーミングアップラップ2周となります。
5）スタート合図はグリッド前方のシグナルがレッド点灯され、レッド消灯でスタートとなります。
6）レース周回数はクラスによって異なります。また天候、その他の理由で変更になる場合があります。
7）耐久を含む全クラスのレース終了後、上位3選手にはコントロールタワー裏手にて暫定表彰式にご出席いただきます。

【7】耐久レース

1）グリッド整列指示のもと、車両を押してコントロールタワー下のゲートからホームストレートに移動してください。
2）コース上にグリッド番号が明示されていますので、所定の位置に車両を停めてください。
3）グリッド整列時は、車両の修理は出来ません。
4）スタートはエンジンをかけたままの「ル・マン式スタート」です。
5）エンジンのON／OFFはオフィシャルの指示に従ってください。
6）レース中コース上でストップした場合は外周路を使ってピットに戻ってください。
外周路へのアクセスゲートは下記4箇所にあります。
   ① 第1・第2コーナーの間の外側
   ② バックストレート中央付近の外側
   ③ 第4コーナーの外側
   ④ ピットロード入口手前右側
7）耐久レースの決勝時間は、天候・日没時刻・その他の理由で短縮される場合があります。
8）ピットインしてライダー交代をする際は、エンジンを切った状態で行ってください。
9）各チーム2回のピットインが義務付けられています。
10）レース終了後、コントロールタワー裏手で暫定表彰式を行います。

【8】その他

1）転倒した場合、二次災害の防止が必要です。
2）転倒後は状況判断を行い、安全な場所まで避難してください。
3）電源と燃料コックをOFFにして、火災や燃料漏れの防止をしてください。
4）ヘルメットは被ったままで行動してください。
5）再スタートの際は、液体漏れがないことを確認してから走行開始してください。
6）タイヤに泥を付着させた状態ではレコードラインを走行せず、後方確認・安全を充分に確認してコースに復帰してください。
7）走行中に転倒車両を発見したら、「コース上に不具合があるかもしれない」ということを想定し走行してください。
8）決勝レース中は、ピットボックス内へ車両を移動した場合、リタイヤとなります。
9）参加者の皆様は、スポーツマンシップに則った行動をしてください。
10）使用済タイヤはお持ち帰りください。
11）ピットレーン、ピットサインマンエリアへの立ち入りはライダーおよびピットクルーのみ可能です。